

LINEプロモーションスタンプ

トレンド・事例集 (2024年7月-9月)

LINEヤフー株式会社

2025/02

LINEヤフー

Contents

01 7月-9月トレンド

人気の表現

季節に合わせた表現

リリース件数が多いが、利用が伸びづらい表現

PR傾向

02 有料スタンプのトレンド

各種表現

7月-9月トレンド

人気の表現

ポジティブな返答などの定番表現は、送信率が高い傾向にあります。

無言・無表情



おはよう



賛同・承諾



お疲れ様



夏表現



ハート



感謝



お辞儀



季節に合わせた表現

7月～9月の季節に合わせた人気表現にはどのような傾向があるのかご紹介します。

汗をかける夏表現

High

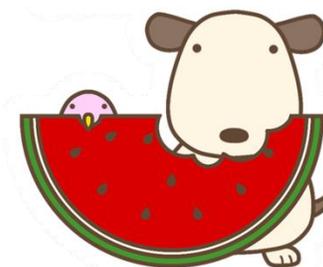
「夏あち～」 「とける」 などの暑がる表現は、太陽や汗などのあしらい以外、扇子、エアコンなど夏らしい要素を入れるクリエイティブが、人気で送信率も高い傾向がありました。



夏限定の食べる表現

Low

テキストなしでスイカなどの夏限定の食べ物を食べている表現は、限定的な表現のため、送信率が低い傾向がありました。



Point

「夏あち～」 「とける」 などの暑がる表現は、季節に共感を呼びやすいため、好まれると考えられます。P4の人気表現と組み合わせてクリエイティブを作成することで、送信率が伸びやすいため、おすすめします。

リリース件数が多いが、利用が伸びづらい表現

利用シーンが限定的であったり、ネガティブ・会話の返答に困る表現などは、送信率が低い傾向にあります。

驚く



呼びかけ



疑問



依頼



伺う



移動



PR傾向

LINEプロモーションスタンプにおけるPRは表現の組み合わせ方によって傾向が分かれました。

人気表現との組み合わせ

High

「賛同・承諾」「お疲れ様」などの人気表現（P4）とPR表現を組み合わせることで送信率が高くなる傾向がありました。



伸びづらい表現との組み合わせ

Low

利用シーンが限定的で話の返答に困る表現(P6)などとPR表現を組み合わせることで送信率が低くなる傾向がありました。



Point

キャラクターの衣服に企業名や企業ロゴを入れても、汎用性の高い表現を組み合わせることで、送信率が高くなる傾向があります。PR表現のスタンプを制作する際は、汎用性の高い表現を選ぶことをおすすめします。一方で、テキスト内に企業名を入れたり、利用シーンが限定的な表現を組み合わせると、利用伸びづらい傾向があります。

有料スタンプのトレンド

有料スタンプのトレンド情報

有料スタンプの傾向をご紹介します。

変顔な表現

High

ドアップ、変顔な表現は人気な傾向がありました。



過剰な褒める表現

Low

「すごい!」「とってもすてき!」などの過剰な褒める表現は送信率が低い傾向がありました。



Point

ドアップや変顔の表現は、テキストなしの方が使いやすいと考えられます。過剰な褒め言葉や驚きの表現は、会話の途中で送ると相手に偉そうな印象を与えてしまうことがあるため、あまりおすすめできません。一方で、拍手や「いいね」といった表現は好まれる傾向があります。

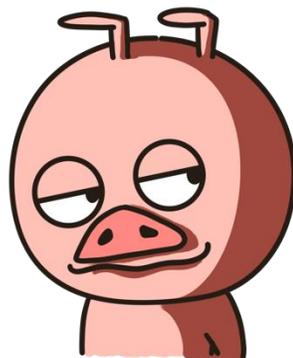
有料スタンプのトレンド情報

有料スタンプの傾向をご紹介します。

ジト目の表現

High

面白いジト目の表現は人気な傾向がありました。



興味なさそうな表現

Low

「へー」「ふーん」などの興味なさそうな表現は送信率が低い傾向がありました。



Point

ジト目の表現は、テキストがなくても、面白さを強調しているため、好まれると考えられます。一方、話に興味がないような表現は、相手に冷たい印象を与える可能性があり、ユーザーから敬遠されやすいと考えられます。

有料スタンプのトレンド情報

有料スタンプの傾向をご紹介します。

同じキャラクターの違う表現

High

同じキャラクターがいつもと違う表現はよく使われる傾向にありました。



状況報告の表現

Low

「お昼休み中」「勉強中」など「〇〇中」の状況報告の表現は送信率が低い傾向がありました。



Point

同じキャラクターがいつもと違う格好をしている様子は目を引きやすく、好まれると考えられます。一方、状況報告の表現は、勉強中やお昼休み中といった実際に忙しいときには、送るタイミングが難しいと考えられます。

有料スタンプのトレンド情報

有料スタンプの傾向をご紹介します。

ハンコ系な表現

Low

ハンコのイラストがある表現は使われにくい傾向がありました。



気遣い系の質問表現

Low

「大丈夫ですか？」などの気遣い系な質問表現は、送信率が低い傾向がありました。



Point

ハンコのイラストはテキストの視認性が良くなく、またハンコとキャラクターの関連性が低いため、ユーザーから敬遠されやすいと考えられます。また、気遣い系の質問表現は、スタンプとして会話中に送りづらく、これも敬遠されがちです。一方で、「お大事に」などの質問以外の気遣い表現は好まれる傾向にあります。

有料スタンプのトレンド情報

有料スタンプの傾向をご紹介します。

なだめる表現

Low

「これで許して?」「落ち着いて」などのなだめる表現は、送信率が低い傾向がありました。



焦る表現

Low

「あわわ」「どどうしよう」などの焦る表現は、送信率が低い傾向がありました。



Point

なだめる表現は、たとえ喧嘩を仲介するシーンがあったとしても、深刻な状況のためスタンプとしては使いにくいと考えられます。また、汗をかいた焦る表現も利用シーンが限定されているため、ユーザーから敬遠されやすいと考えられます。

LINEヤフー